

景気対策に最善の努力を 一般会計に2億3,757万円を追加

12月定例議会は、12月9日から19日までの11日間の会期で開催しました。景気の急速な減退を受

10人の議員が行った一般質問でも、景気対策に関する質問が多く目立ちました。また、マスコミ等でも注目された、赤松分校の耐震工事を求める陳情は、特別委員会を設け集中審議した結果、不採択に決しました。



不景気の影響？男子にはフォーマルなスーツが目立った

一般会計補正予算(第5号)

約2億円を追加し、歳入歳出の総額は、100億5846万円になりました。

歳入の主なものは、額の確定による交付税の増3億2835万円。これにより、基金からの繰入額は約1億6千万円減額されました。

歳出の主なものは、基金への積立て約6千万円、灯油高騰対策として、19年度に続き、住民税非課税世帯への灯油購入助成に450万円、旧大山町焼却場の解体工事費等に約3500万円、下市駅前水害対策事業等の防災対策に930万円など。

策をとるか。

答 (田中総務課長)

JR山陰線に沿った町道の排水と、JRからの排水の交差部分で互いの流れを邪魔する箇所があり、改善し地元の安全を保つ。

公 用 車

問 (西尾議員)

ハイブリットカー3台の購入費1200万円は、高すぎないか。

答 (田中総務課長)

低炭素社会を目指した対策として、国が新たに創設した地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金を財源に、その趣旨に沿った予算計上。ワンボックス・タイプが2台、2トトラック1台を購入する。

集 落 営 農

問 (川島議員)

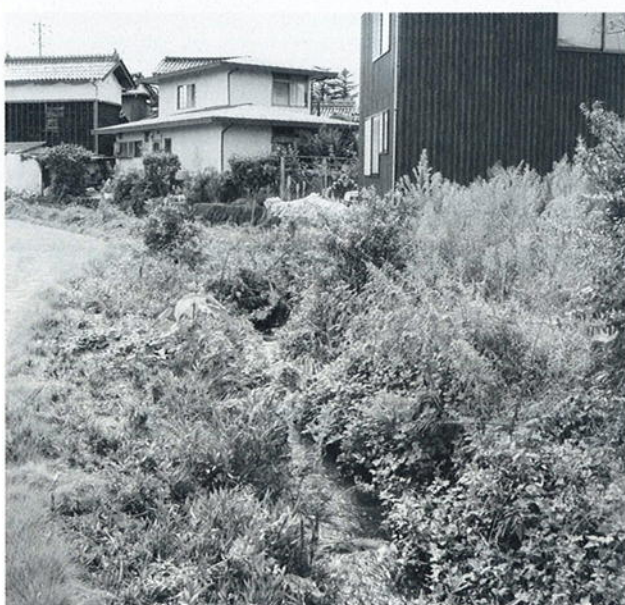
多様な集落営農支援事業補助金358万円の内容は。

質 疑

防 災

問 (野口議員)

下市駅前水害対策工事について。過去には線路が水没するようなこともあったが、どのような対



大雨が降ると氾濫する水路 (下市駅前)